

社会保障改革プログラム法案 自公が採決強行(国会テレビ)

http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=43220&media_type=wb

2013年11月15日(金) 厚生労働委員会 (3時間39分)

案件：持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律案 (185国会閣2)

後藤茂之(厚生労働委員長)	9時 05分	01分
大西健介(民主党・無所属クラブ)	9時 05分	24分
中根康浩(民主党・無所属クラブ)	9時 29分	25分
柚木道義(民主党・無所属クラブ)	9時 54分	28分
足立康史(日本維新の会)	10時 22分	38分
新原秀人(日本維新の会)	11時 00分	36分
柏倉祐司(みんなの党)	11時 36分	22分
高橋千鶴子(日本共産党)	11時 58分	22分
重徳和彦(日本維新の会)	12時 23分	05分

大臣等(建制順)：田村憲久(厚生労働大臣)、土屋品子(厚生労働副大臣)、高鳥修一(厚生労働大臣政務官)、赤石清美(厚生労働大臣政務官)

(報道より)

○時事通信 与党が採決強行＝衆院委、野党反発－社会保障プログラム法案



社会保障制度改革の項目や実施時期を定めたプログラム法案は15日の衆院厚生労働委員会で、野党が審議の継続を求める中、自民、公明両党が採決を強行、賛成多数で可決された。来週の衆院本会議で可決、参院に送付される見通し。野党は強く反発しており、他の法案審議に影響する可能性もある。

法案は、2014～17年度にかけて、現行1割に軽減している70～74歳の医療費窓口負担を本来の2割に引き上げたり、国民健康保険制度の運営主体を市町村から都道府県に移管したりするなどの医療改革を順次実施すると規定。介護保険制度については、高所得者の自己負担引き上げなどを盛り込んだ介護保険法改正案を次期通常国会に提出する方針を定めている。

民主党の松原仁国対委員長は代議士会で「強行採決に大きな怒りを覚える。巨大与党のおごりだ」と非難。みんなの党の渡辺喜美代表は記者会見で「多数にあぐらをかいて横暴を極めている印象を国民は持つ。こういう国会運営には反対していく」と述べ、共産党の志位和夫委員長も「法案は社会保障の理念を変質させる内容で、採決を強行した責任は重い」と批判した。

一方、菅義偉官房長官は会見で「5日間、25時間に及ぶ丁寧な議論がなされた」と説明した。(2013/11/15-21:58)

○しんぶん赤旗 2013年11月16日(土) 自・公、討論封じ採決強行 社会保障プログラム法案 共産党は反対 衆院委

社会保障制度改革の手順を定めるプログラム法案が15日、怒号が飛び交う中、衆院厚生労働委員会で採決が強行され、自民、公明両党の賛成で可決されました。日本共産党の高橋ちづ子議員は「審議が尽くされていない」として審議継続を求めましたが、与党は抗議を無視し、一部野党の反対討論さえ保障せず採決に踏み切りました。同法案は、現在1割となっている70～74歳の医療費窓口負担を2割に引き上げるなど医療・介護・年金・子育ての諸制度を2014～17年度にかけて順次改悪することを明記したものです。

採決に先立つ質疑で高橋氏は、国連社会権規約委員会の最終見解で「無年金・低年金により格差が広がっている」とした勧告が出されていることを指摘。多くの高齢者が年金を得られていない現状を示し、政府の認識をただしました。田村憲久厚労相は「低年金者の年金を上積みするなど、対策を進めていきたい」と述べる一方「納付せずに支給すると、納付する意欲を失う」とし、無年金者の対策には背を向けました。

樽見英樹年金管理審議官は「未納分の保険料を追納できる制度が実施された昨年10月以降、新たに1万人余が年金受給資格を得た」と答弁。高橋氏は、当時、年金額を増やせる人は最大で約1600万人と試算していたことを挙げ、追納期間の延長など無年金・低年金問題の解決へあらゆる努力をするよう求めました。